

福祉にいがた

Fukushi Niigata

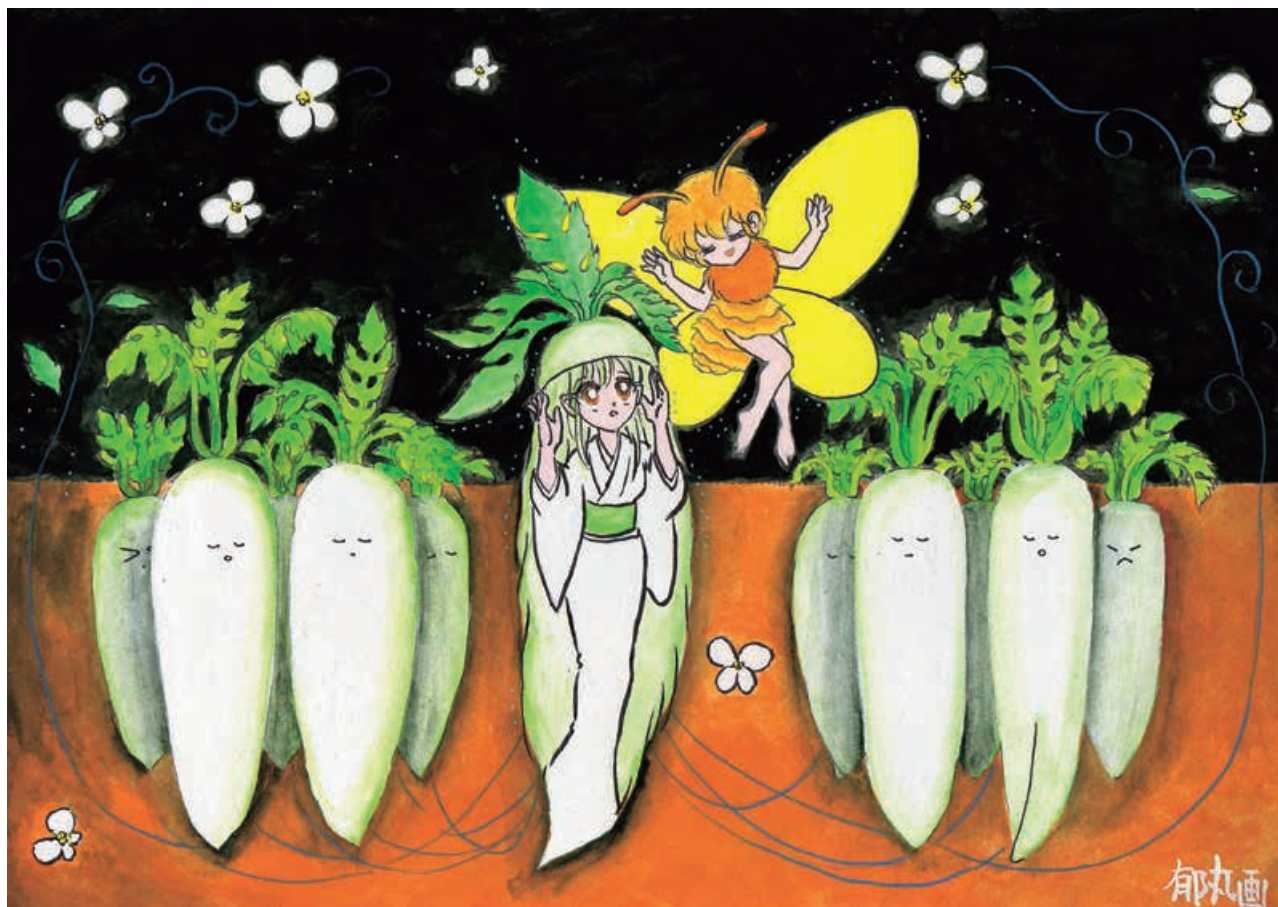
CONTENTS

巻頭特集

阿賀町で市町村社協会
会長視察研修（2・3面）

- 新潟、長岡、上越で「福祉・介護・健康フェア」開催へ
- 地域紡ぐ NPO法人「学びスペース あうるの森」活動紹介
- 令和元年度共同募金公告

10月号
2019
第806号



絵 高橋 郁丸「大根の年取り」（漫画家・新潟市中央区）・文 11面

町と社協の権利擁護実践例に学ぶ

9月5、6の両日、阿賀町で5回目の「市町村社会福祉協議会会長視察研修」が行われ、新潟県社会福祉協議会・竹内希六会長をはじめ、25社会福祉協議会会長・副会長が参加。初日は、阿賀町成年後見センターと同町社協の法人後見の取り組みと過疎化と高齢化が進む同町での地域医療の在り方を学びました。2日目は、新潟水俣病による地域の分断と、支え合いのまちづくりが進む今を考えました。

県立病院の「出向く医療」にも感心

初日は、阿賀町のホテル角神を会場にスタート。竹内会長が「今回は行政と社協などの意欲的な取り組みを学ぶ。役立つ情報を持って帰ってほしい。併せて、いざという時に互いに手を差し伸べ合えるよう、交流を深め信頼関係を築く一助になれば幸いだ」と開催の意義を強調しました。

地元・阿賀町社会福祉協議会の長谷川勇会長が「高



開会のあいさつをする
竹内・県社協会長



歓迎のあいさつをする
長谷川・阿賀町社協会長

法人後見の取り組みと課題」について具体例を挙げながら紹介しました。

「町成年後見センター」は、平成28（2016）年4月に設置されました。この中核機関としてのセンターが機能することで、制度利用が円滑になり、生活の立て直しや権利擁護などが進んだと言うことです。今後は、困難案件に対応できる後見人候補者の確保や制度が安定的に運用できる仕組みづくりなどが課題であり、市町村社協との連携が重要であると考えています。

高齢率トップの地域で、社協は何をすれば良いのか考へながら、40人の職員で頑張っている。研修会を通し、また皆さんのご指導の下、さらに実践を重ねていきたい」と歓迎のあいさつ。阿賀町地域包括支援センターの渡部一知主任と阿賀町社協の谷垣智子福祉活動専門員がそれぞれ、「阿賀町成年後見センターの現状と今後の展望」と「阿賀町社協

また「社協の法人後見」について、一つの事例から、地域のつながりの重要性が見えてきたと話します。家



阿賀町成年後見センターについて
詳しく説明する渡部主任



阿賀町社協の法人後見について
話す谷垣福祉活動専門員

族や友人・知人、地域、公的資源がそれぞれのスキルを生かしたチーム力で、またいろいろな事業が繋がって、その中心に居る利用者を支えている様子を説明しました。

続いて、県立津川病院の原勝人院長が「過疎化高齢化地域における多職種連携による地域医療の実践」と題し、核となる町立診療所



市町村社協会長らは、それぞれの取り組みに真剣に耳を傾けていた

公害による地域社会被害を考える

2日目は、会場を阿賀町総合福祉センター「やまぶきの里」に移して、県立環境と人間のふれあい館の塚田眞弘館長が「公害が地域社会にもたらす影響と支え合いのまちづくり」をテーマに講演。昭和電工鹿瀬工場の廃液により、阿賀野川



環境と人間のふれあい館・塚田館長が、公害が地域社会に与えた影響などについて解説

など関係機関と連携した「出向く医療」の現状を詳しく話しました。

24時間体制での訪問診療や訪問看護、へき地巡回診療、ミニ講座を開くなど予防医療の一環であるナイトスクール、そして在宅看取りなど、長年にわたる医療

流域で発生した新潟水俣病が、「村八分」や、子どもの結婚を断られるなど地域社会にもたらした影響・被害について解説、支え合いのまちづくりを目指して始まった、新潟版「もやい直し」と言える「阿賀野川えくとこだ！環境学習」プロ



麒麟山酒造の齋藤会長が、新潟の酒造りを語る

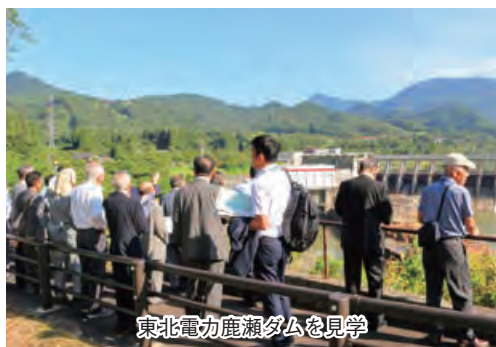


津川病院の原院長が阿賀町の地域医療の実情を語る

現場の尽力に参加者は熱心に聞き入っていました。

ジェクトを紹介しました。「もやい」は船をつなぐ

ことや共同作業を意味する言葉で、元熊本県水俣市長が地域の対立を乗り越え、力を合わせて水俣の再生を目指し、水俣病犠牲者慰霊式式辞で使った言葉だと言



東北電力鹿瀬ダムを見学

うことです。

続いて、地元の麒麟山酒造・齋藤吉平会長が、新潟の酒造りと、昭和59（1984）年に開校した新潟清酒学校の設立経緯について話しました。併せて、タン

薬物乱用の根絶目指す 11月まで県が防止運動

新潟県は11月30日まで、「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」を行い、薬物乱用を未然に防ぐための広報活動や学校現場での啓発などを積極的に進めます。

麻薬、覚醒剤、大麻、シンナー、危険ドラッグなどの乱用は、乱用者の健康問題にとどまらず、各種犯罪の誘因となるなど社会に計り知れない危害をもたらします。こうした状況を踏まえ、県では「麻薬・覚醒剤乱用防止運動」を通し、薬物乱用による危害を広く県民に知らせ、一人一人

クが並ぶ同酒造の新設された酒蔵を見て回りました。

この日は、県社協・藤田伸一事務局次長の説明で、東北電力鹿瀬発電所も国道沿いから見学しました。

の意識を高めることで薬物乱用の根絶を目指します。特に青少年を中心に、危険性や有害性を正しく知らせることに力を入れる方針です。

新聞やラジオの活用やポスターの掲示、リーフレットの配布、薬物乱用防止指導員の活動を一層進めるほか、学校での「薬物乱用防止教室」や保健所の「覚醒剤等相談窓口」などを活用し啓発に努める計画です。





赤い羽根 情報

赤い羽根 共同募金スタート

今年で73回目を迎えた共同募金が10月1日からスタートしました。今年の目標額は4億8607万4千円です。

共同募金は障害者の社会参加をはじめ、地域福祉の推進を応援しています。

「じぶんの町を良くするしくみ」共同募金にご協力をお願いします。

ポスターのモデルは 新潟WBCの皆さんに決定

今年度の共同募金ポスターは、新潟市などを中心に活動している新潟WBCの皆さんに、モデルとして協力していただきました。

代表の松川和彦さんから、次のようなメッセージが届いています。

小さなきっかけで始めた車椅子バスケットボールは、多くの人達との出会いの場を与えてくれたと共

に、自分を成長させてくれました。時には喧嘩をしたり、みんなで勝利を喜び合ったり、普段はなかなか味わうことのできない大切な時間をメンバーと共有しています。

今の目標は、チームとしての天皇杯への出場や、日本代表選手としての2020年東京パラリンピックや2021年世界選手権への出場などです。

さらに、講習会や体験会を通じて車椅子バスケットボールの普及や振興に貢献していきたいと考えています。



赤い羽根共同募金

共同募金は、障害者の社会参加をはじめ、地域福祉の推進を応援しています。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。



幸せは紡がれて

結婚式に出席しました。花嫁の「ベールダウン」、この瞬間を見ると、どうにも感情がこみ上げて涙があふれてしまいます。

このベールを下ろすという行為には魔除けの意味があり、花嫁がこの先守られるようにという願いが込められているといいます。新婦がすっと腰を落とし、母親が新婦を見つめながら優しくベールを下ろす、その所作の一つ一つに、母と娘がこれまで過ごしてきた時間の豊かさや温かさ、そして育まれてきた愛情の深さを感じます。

花嫁が今日この日を笑顔で迎えられるのは、これまでの暮らしの中に、小さな、けれど確かな幸せの積み重ねがあったから

こそと思うのです。よく「福祉」という言葉は、「ふだんのくらしのしあわせ」と表現されますが、まさにそれがこれまで実現してきたからこそ、希望を持って新たな一歩を踏み出せるのではないのでしょうか。

「福祉」はもっぱら、公的扶助やサービスの利用による安心や安定、充足の意で使われますが、「福」にも「祉」にも「さいわい」という意味があり、この言葉自体が幸福そのものを示しています。

バージンロードを歩み、父親から新郎にバトンタッチがなされた瞬間から、新たな家族の1ページが始まります。今後、ライフステージの中でさまざまなヒトやモノと関わっていくことになるのでしょう。おそらく、その中には仕組みやサービスとしての福祉の順番もあることと思います。福祉の真意を心に留め置きながら、日々の暮らしの中の幸せが絶えることなく紡がれていくようお手伝いをする。福祉に携わる者としての立場を改めて考えさせられました。苦しみや悲しみではなく、幸せが循環する未来になりますように。

(実央)

社会福祉法第119条に基づき新潟県における令和元年共同募金計画について、次のとおり公告します。

令和元年10月 社会福祉法人 新潟県共同募金会 会長 小田敏三

1 募金募集の期間

- 一般募金 令和元年10月1月から令和元年12月31日まで
- 地域歳末たすけあい募金 令和元年12月1日から令和元年12月31日まで
- NHK歳末たすけあい募金 令和元年12月1日から令和元年12月25日まで
- テーマ型募金 令和2年1月1日から令和2年3月31日まで

2 募金の目標額 486,074千円

一般募金 380,702千円 地域歳末たすけあい募金 79,372千円 NHK歳末たすけあい募金 8,000千円 テーマ型募金 18,000千円

3 配分の範囲

新潟県内において、社会福祉事業、更生保護事業その他の社会福祉を目的とする事業を実施する者（国及び地方公共団体を除く。）とする。

4 配分の計画

配分要望のあった次に掲げる事業に対し、募金実績の範囲内において配分を行う。

(1) 一般募金

①広域配分計画

(単位:千円)

●広域社会福祉団体

配分先	配分予定額	使途内容
新潟県社会福祉協議会	5,599	「福祉にいがた」の発行等
新潟県母子寡婦福祉連合会	300	県母子寡婦福祉大会
新潟県手をつなぐ育成会	130	研修事業
新潟県保育連盟	300	保育所問題研究委員会
新潟県身体障害者団体連合会	640	県身体障害者福祉大会等
新潟県老人クラブ連合会	493	県老人福祉大会
新潟県肢体不自由児協会	230	ふれ愛作品展
新潟県保護司会連合会	300	研修事業等
新潟県民生委員児童委員協議会	500	研修事業等
新潟県ホームヘルパー協議会	300	研修事業等
新潟県災害ボランティア調整会議	300	研修事業等
新潟県精神障害者家族会連合会	270	福祉フォーラム
新潟いのちの電話	379	電話相談員養成事業
新潟県里親会	300	県里親大会等

●社会福祉施設

配分先	配分予定額	使途内容
zutto・sotto	1,719	車両の購入
かめだ早通の里	2,000	車両の購入
はさぎの里	1,470	車両の購入
ケアハウス岡南	1,427	車両の購入
桐樹園	1,858	車両の購入
デイサービスセンターまちだ園	1,546	車両の購入
長岡市デイサービスセンターサンパルこなのしま	2,000	車両の購入
デイサービスセンターこころつくし	2,000	車両の購入
平成園	2,000	車両の購入
三好園	2,000	車両の購入
きわなみ荘	2,000	車両の購入
杉の子の家	2,000	車両の購入
もみの木の家	2,000	屋根防水工事等
サポートセンター青りんご	116	備品の購入
もぐら工房	1,474	備品の購入
いずみ苑	1,940	備品の購入
桑の里	1,000	備品の購入
沖見の里	1,741	備品の購入
川通どれみ保育園	673	備品の購入
両津デイサービスセンターかんぞう	2,000	備品の購入
ゆのさと園	430	備品の購入
関川村デイサービスセンターふれあいの家	450	備品の購入

●社会福祉協議会地域活動用車両

配分先	配分予定額	使途内容
長岡市社会福祉協議会ほか5団体	7,628	車両の購入

●地域活動支援センター

配分先	配分予定額	使途内容
地域活動支援センター格煎コーヒー温ほか16団体	2,500	研修・交流事業等
地域活動支援センターⅢ型らびすらすり	135	備品の購入
地域活動支援センターUNEHAUS	134	備品の購入

●地域活動支援団体

配分先	配分予定額	使途内容
新潟自遊心	219	備品の購入
ほほえみ	200	燃料費
乙区	71	備品の購入

●児童養護施設等就労支援

配分先	配分予定額	使途内容
児童養護施設等に在籍する生徒等	6,000	運転免許取得費

●地域福祉活動拠点整備支援

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	4,000	居場所づくり事業

●障害者支援施設車両

配分先	配分予定額	使途内容
障害者支援施設	4,000	車両の購入

●テーマ型募金支援

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	3,500	活動費

●その他

配分先	配分予定額	使途内容
災害等準備金積立金	14,000	災害時の活動積立金
緊急災害配分金	2,000	火災・水害の見舞金等
共同募金運動推進費	66,310	運動推進のための経費

●「こどもたちの明るい未来づくり基金」から子供食堂への助成

配分先	配分予定額	使途内容
にじいろカフェつづけ隊ほか2団体	320	活動費等

②地域配分計画

配分先	配分予定額	使途内容
地域福祉団体、社会福祉協議会など	60,938	高齢者への支援
	12,173	障害児(者)への支援
	21,092	児童・青少年への支援
	2,503	課題を抱える人への支援
	129,094	その他

(2) 地域歳末たすけあい

配分先	配分予定額	使途内容
地域福祉団体、社会福祉協議会など	43,314	高齢者への支援
	2,055	障害児(者)への支援
	1,052	児童・青少年への支援
	450	課題を抱える人への支援
	32,501	その他

(3) NHK歳末たすけあい

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体・難病患者支援団体など	8,000	車両整備等

(4) テーマ型募金

①あったか雪募金

配分先	配分予定額	使途内容
除雪ボランティア団体等	3,000	除雪資材の購入等

②新テーマ型募金

配分先	配分予定額	使途内容
福祉団体等	15,000	活動費等

※ 詳細な事業内容については赤い羽根データベースはねっと (<https://hanett.akaihane.or.jp/>) をご覧ください。

平成31年度 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ			
葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)				
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ ^(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

団体割引 20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

^(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

● 後遺障害も
フルカバーなので
安心です!!

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動や
ボランティア活動の
さまざまな行事における
ケガ、賠償(主催者責任)
を補償!!

保険金額

A・B・Cプラン共通 (A・B・Cプラン共に熱中症危険補償特約セット)

保険金の種類		補償内容	
ケガの補償	死亡保険金	400万円	
	後遺障害保険金	400万円(限度額)	
	入院保険金日額	3,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	35,000円
		外来の手術	17,500円
通院保険金日額	2,200円		
賠償責任	対人事故	1名・1事故 2億円(限度額)	
	対物事故	1事故 1,000万円(限度額)	

※賠償責任の補償の限度額は、補償の対象となるリスクの種類ごとに適用されます。

保険料 (1名あたり)

団体割引15%適用済

※詳しい内容は、パンフレットをご覧ください。

Aプラン (宿泊を伴わない行事)			
	A1の行事	A2の行事	A3の行事
1日	28円	1日 126円	1日 248円
(最低保険料)	560円	(最低保険料 2,520円)	(最低保険料 4,960円)
Bプラン (宿泊を伴う行事)			
1泊2日(2日間)	241円	2泊3日(3日間)	295円
Cプラン (A1区分で宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できない行事)			
1日	28円 (最低保険料 560円)		

送迎サービス補償

(傷害保険)

- ◆ 送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

- ◆ ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S/JNK18-13567 2019.1.16作成)

福祉・介護・健康フェア2019

より充実、今年も県内3会場で開催

2012年より毎年開催してきました新潟県社会福祉協議会、新潟日报社など主催の「福祉・介護・健康フェア」を今年も開催します。地域における福祉・介護・健康などに関する情報を発信し、豊かな生活を送れる一助となることを目的とする同フェアは年々規模を拡大しており、昨年に引き続き、県内3会場での開催となります。

今年スタートは、3回目となる上越会場です。規模拡大を望む声を受けて、リージョンプラザ上越へ会場を変え、10月26日(土)に開催します。料理研究家のコウケンテツ氏や落語家の林家こん平氏親子による講演をはじめ、運動療育などを含む発達障がいへの理解促進コーナーや障がい者アートの展示コーナーなど、

■林家こん平親子ら講演

今年スタートは、3回目となる上越会場です。規模拡大を望む声を受けて、リージョンプラザ上越へ会場を変え、10月26日(土)に開催します。料理研究家のコウケンテツ氏や落語家の林家こん平氏親子による講演をはじめ、運動療育などを含む発達障がいへの理解促進コーナーや障がい者アートの展示コーナーなど、

他の2会場にはない企画が待ちます。大きくなった会場にふさわしい、充実したフェアとなるよう、主催者で準備を進めています。

■最新のサービズ紹介

続いて、3週間後の11月17日(日)には、8回目となる新潟会場が朱鷺メッセで開催します。昨年、来場者数が1万8000人を超えた勢いそのままに、日本海側最大級のイベントとして、来場者の方々に満足してもらえる内容を準備しています。

メインステージでは、タレントの山田邦子氏や陸上の五輪メダリストである朝原宣治氏など、各分野に精通した講師が講演します。また、専門家などによるセミナーブースや協賛企業・団体が最新の商品やサービスを紹介する「体験・相談・展示コーナー」を設け、質の高い学びの場となるように計画を進めています。「子ども広場」や「はたらく車展示」などは、親子で一日中楽しむことができます。

■パラスポーツを体験

最後は長岡会場。4回目



ポッチャを楽しむ(昨年新潟会場)



トッキッキと一緒にポーズ(昨年長岡会場)

の今年は、12月1日(日)にハイブ長岡で開催します。俳優の大場久美子氏や哲学者で作家の岸見一郎氏を講師としてお招きするメインステージ、来年の東京パラリンピックを前にしたパラスポーツ体験など、会場の方々にとってより有意義なイベントを目指します。

■地域共生のヒント提案

今年も「安心できる暮らしを提案」明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて」というスローガンを掲げ、「地域で安心・健康に暮らしていくヒント」を皆さんにお届けし、生活の質をより高めたいための情報を発信します。

社協職員装う電話に注意 個人情報話さないで

県内で社会福祉協議会の職員を装った不審電話が相次いでおり、県社会福祉協議会では注意を呼びかけています。

不審な電話は8月30日から9月4日にかけて、長岡市や燕市、関川村など少なくとも7市村で10件確認されています。家族構成など個人情報聞き出そうとするもので、電話口の声は男性が多いと言っています。

県社協では、「全国的にも類似の電話が増えている。社協職員が電話で個人情報を聞き出すことはない」と安易に家族の状況などを話さないよう訴えています。

福祉・介護・健康フェア2019

【上越会場】

- ・日時 10月26日(土) 9:30~16:30
- ・会場 リージョンプラザ上越・インドアスタジアム(上越市下門前446-2)

【新潟会場】

- ・日時 11月17日(日) 9:30~16:30
- ・会場 朱鷺メッセ・ウェーブマーケットほか(新潟市中央区万代島6-1)

【長岡会場】

- ・日時 12月1日(日) 9:30~16:30
- ・会場 ハイブ長岡・大展示ホール「アリーナ」(長岡市千秋3丁目315-11)

■介護利用記録DB化

厚生労働省は2020年から、介護サービス利用者の健康状態やケアの内容を収集・分析するデータベース(DB)の運用を始める方針を固めた。分析結果から自立支援に効果があるサービスを特定して公表し、普及を図る。サービスの質の向上や介護職員の負担軽減につなげ、介護需要の高まりに対応する狙いがある。運用を始めるDBは「CHASE」。今年度中に開発を終え、試行を経て20年度から本格的に運用する。

■障害者900人、職場で虐待「経済的」が最多

職場の上司や雇用主などから虐待を受けた障害者は2018年度で900人だったことが8月28日、厚生労働省のまとめで分かった。過去最多だった17年度(1308人)に比べると約31%減少した。調査は通報や情報提供があった全国1656事業所に都道府県労働局が直接事業所を訪問するなどして事実確認した。虐待の種類別では、不当に低い賃金で働かせるなどの「経済的虐待」(791人)が最多。暴言などの「心理的虐待」(92人)、殴る蹴るなどの「身体的虐待」(42

人)と続いた。多くの障害者が複数の種類の虐待を受けていた。

■待機児童 過去最少

認可保育所に入れない4月1日時点の待機児童数が、今年は過去最少になることが8月30日、わかった。これまで最少だった2007年の1万7926人を下回り、1万7千人前後になる見通し。ただ、今年10月から始まる幼児教育・保育の無償化に伴って潜在的な保育ニーズが掘り起こされ、待機児童は増えるとの指摘もある。保育士不足も深刻で、待機児童の解消が順調に進むかは見通せない。

自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業者様が所有・使用する
自動車の自動車共済掛金に **10%割引**
を適用します。

ご加入中の自動車保険の無事故等級も
そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



〒951-8133
新潟市中央区川岸町 1-47-1 新潟県中小企業会館内
TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255
URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

<引受共済：関東自動車共済協同組合> 平成 30 年 9 月作成 No.1809107

地域紡ぐ



理事長の山田さん

特定非営利活動法人

学びのスペースあうるの森

(山田竹紘・理事長 長岡市)

共働き家庭を応援し、子どもたちには安らぎの場を用意する「学びスペース あうるの森」は設立7年目に入りました。「今の活動をベースに、保護者が安心して働くことができ、子どもたちが安心して居場所づくりを、さらに進めたい」と山田竹紘理事長は今後を見据えます。

その「あうるの森」は、長岡市の住宅街の一角にあり、現在2つのコースに30人ほどの小中学生が通っています。その一つは「放課後学びコース」です。「共働き家庭をサポートしたい。同時に宿題を終わらせることも大切にしていく」。平日は夜7時半まで、土曜日も午後4時まで、さらに夏休みも受け入れ、小学1年生から中学3年生までを対象としているところが、大きな特長です。

子どもが1人で過ごすことがないように、そして父母の助けになるように、との思いからです。送迎もあり、漢字検定の対策や作文の書き方など学べるプログラムも用意しています。

二つ目は学校を休みがちな児童・生徒らのための「不登校支援コース」です。「子どもが安心して過ごせる居場所にした。それを強く思っている」と山田理事長。学校と

子どもたちに安らぎの場提供

も連携しています。「勉強とともに、自信を身に付けることを大切にしている。能力を証明してくれる資

格試験なども積極的に受けるようにしている」。子ども一人一人に寄り添い、次のステップに進む手助けをしています。

社会性を育むことにも重きを置いていきます。朝の掃除から始まり、学習時間をしっかり確保し、学年を超えて自由時間を楽しむこともできます。バーベキューなどのイベントを定期的に行い、年に1回は演劇など大きなイベント

も企画しています。演劇では脚本から衣装、小道具作りまで、子どもたちが考えます。「自分の仕事に責任を持ち、他の人と協力することを大事にしている」と自主性も養います。「今年のマルシェの飲食ブース出店では、原価計算やマーケティングなども話し合いながらやってみようかな」と楽しくおカネの勉強をすることも思い描いています。



学習タイム

「あうるの森」は、山田理事長が2013年4月に立ち上げた施設です。大学院で社

会学の見地からの教育学を研究していましたが、東日本大震災を契機に「実際に困っている人がいる。研究者ではなく、実地で救うほうが良いのでは」と考え、大学院を退学、長岡に戻ってきました。高校時代から教育に興味を持ち、ドイツでの1年間の留学は、学校の在り方や保護者の考え方の日本との違いが勉強になったと言います。今後について、山田理事長

◆メモ◆

「学びスペース あうるの森」は設立から2年後の2015年4月に特定非営利活動法人。「あうるの森」は、知恵の神であり、福の神のフクロウに由来する。

◆住所 〒940-0026 長岡市石内2-3-9

◆電話 02558370780

◆放課後学びコース
月～金曜日 16時～19時30分、土曜日 10時～16時

◆不登校支援コース
月～金曜日 8時～17時

◆日曜日と祝日休み。詳しくはホームページ <https://www.owhomori.com/>

は「行政の援助」の必要性を強調します。それにより利用料が下がれば、一人でも多くの子どもが「安らげる居場所」に来ることができると考えるからです。

「あうるの森」のスタッフは山田理事長ら3人。ちよつと大きいお兄さんとお姉さんが子どもたちを待っています。

(取材協力：新潟NPO協会)

地域の社会資源を耕し、共生社会に向かって、地域を支えるNPO法人や福祉関連団体などの活動を紹介します。

|| 随時掲載 ||



「あうるの森」外観

にいがた☆高校生ボランティア活動紹介



五泉高校ボランティア同好会では、学校周辺のゴミ拾いやペットボトルキャップの回収、牛乳パックを再利用した制作活動など、日々の活動を中心に、五



餅つき大会

【部の紹介】

現在、部員 35 人 (男子 32 人、女子 3 人) で活動している。牛乳パックを再利用して作成した「携帯用ゴミ袋ケース」は、文化祭で来場者に配布し、好評を得ている。

市内の施設や団体からの要請を受け、さまざまなボランティア活動を行っています。

五泉高等学校 ボランティア同好会

感謝を自分の喜びに変える

市内の施設や団体からの要請を受け、さまざまなボランティア活動を行っています。

同好会ということ、人数から始まった活動ですが、徐々に地域の方々から声をかけていただく機会が増えています。

会を明るくする運動への協力活動が認められ、新潟保健観察所長から感謝状もいただきました。積極的な生徒ばかりではなく、なかなか自分から動けない生徒もいますが、敬老会のボランティア活動では、手をつないで階段の昇降介助を

き大会、川遊び&バーベキュー) ⑤五泉市チャレンジウォーク⑥五泉市紅葉マラソン⑦24時間テレビ街頭募金活動⑧赤い羽根共同募金⑨3Rキャンペーンアンケート調査など、五泉市のイベントにも多く参加しています。子どもから高齢者の方まで幅広い年代の方と交流し、たくさん笑顔と「ありがとう」をいただきました。また、昨年は、社

したり、「楽しんでくださいいね」と声をかけたり、どの生徒もいい笑顔が見られました。最初はどのように声をかけていいかわからず、いた生徒も、参加された方々からの感謝や笑顔を、自分たちの喜びに変えることができました。活動後に「自分の心も満たされた」「ありがとうの言葉をたくさんかけていただき、



社会を明るくする運動

誇らしい気持ちになった」などの感想が聞かれました。

ボランティア活動は人と人とのつながりです。人や町を明るく元気にする力があると思います。今後も地域に必要とされ、それに応えられる五泉高校ボランティア同好会であるよう、活動していきたいと思いません。

ボランティア同好会顧問

相田 志の江

Ⅱ 次回は11月号に掲載Ⅱ

新潟の信仰

旧暦10月10日はトオカンヤといい、田の神さまが山へ帰る日と考えられています。この日は大根の年取りの日でもありと考えられています。

年取りといえば大晦日おおみそかの事ですが、さて大根の年取りとはどういうことなのでしょう？大根にとって、この日は大切な

声を聞こうとして一晩中、田の中を彷徨ほうこうしたという逸話があります。ずっと田畑を耕し、作物と向き合ってきた人たちにはかけがえのない実り。作物が成熟する音を聞き届けることもあったのかもしれない。

大根は冬の行事にはかかせない野菜です。大師講（11月）や大黒様の嫁取り（12月）でも大根を供えたり食べたりします。煮ても焼いても蒸しても美味しい大根。食あたりすることもないので「あ

大根の年取り 唸り声を上げ一夜で成熟する日

日であるようです。新潟県内各地に、この日は必ず大根を「食べる」「食べない」と大根に関しての決まりごとがありました。

「大根が唸る」という古い伝承は、大根が日本人にとって大切なものであったことが推測されます。

魚沼の方では「この夜、大根は唸り唸り大きくなるので、大根畑に行っていない」といわれていました。あの、真っ白でむっちりした大根が、うんうん言いながら一夜にして大きくなっていくのか？と想像するとこっけいな感じもしますね。

江戸時代の僧、良寛さんが稲が吼ほえる

文・絵 高橋 郁丸

（新潟県民俗学会理事・

新潟妖怪研究所長）



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介

【福祉機器展示室（アミエル ユニゾンプラザ店）】

福祉機器展示室では、高齢者の自立支援と介護する家族の負担軽減に役立つ福祉機器等を展示し、それらの紹介や使用方法、選び方などの無料相談も実施しております。

また、住宅改修や在宅介護に関する無料相談も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

相談には、福祉用具専門相談員の有資格者が対応します。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：<http://www.unisonplaza.jp/>

この展示室では、高齢者の身体機能低下への理解を深めるための「高齢者疑似体験」を受け付けています。

「高齢者疑似体験」では、健常者が特性のメガネや耳栓、手袋などを装着し、館内の廊下や階段を移動しながら、高齢者や障害者の身になった体験を行えます。（事前申込が必要。TEL 025-384-8223）



福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに、
仕事の魅力と懸ける思いを聞きました—



社会福祉法人
阿賀町社会福祉協議会
福祉活動専門員

谷垣 智子さん

- ◆資格
社会福祉士、介護支援専門員
- ◆モットー
いつまでも学び続ける
- ◆所属団体情報
阿賀町社会福祉協議会
0254-92-3088
e-mail
agamachisyakyo@world.ocn.ne.jp
ホームページ
<http://care-net.biz/15/agashakyo/>

阿賀町社協に入るとともに、福祉活動専門員となり5年目。福祉のまちづくりの推進役として、認知症や知的障害、精神障害で意思決定が困難な人を法律的に保護し、支える「法人後見」をはじめ「ふれあいいいききサロン」、「みんなでささエール」など多くの事業推進に力を注いできました。

とりわけ、町社協が成年後見人などになる「法人後見事業」では、「ネットワークが求められ、対象者がその真ん中だ」という視点が大切」と強調します。親族を含む多くの分野の人たちが、「できる範囲」で関わることで、しっかりとした支援の大きな輪ができます。持ち前のバイタリ

地域のつながり生かし成年後見

ティーと明るさで、コーディネート役を務めます。

「地域の力をどこまで上げていくか、その中でキラッと光る人々を、どのようにつなげていくのか。それぞれが、自分の役割を分かった上で、一歩ずつ踏み出せば大きな力となる。チーム力つてすごいな」

地域のつながりの大切さを実感しています。それだけに、「暮らして良かった、と誰もが言える地域になってほしい」と願います。「持っている魅力を発信していきたい。そのためには外部の力が必要であり、いろんな人に関わり、入ってきてほしい」と今後を見つめます。

かつては、高齢化と過疎化が進む

古里が嫌でした。でも、大学に入り離れてみると、「豊かな自然があり、アクティブシニアが活躍している。弱みを強みにできるのでは」と考え直し、「何か自分ができるのか」とUターン。町内の通所施設での生活支援員や在宅でのケアマネジャーから社協への転職は、「地域福祉をやりたい」という強い思いからでした。2人の子育ての真っ最中でしたが、ご主人が背中を押してくれたそうです。

「外へ行っていろいろ吸収したい」。その旺盛さは、大学で学んだ生涯学習の実践を目指しているようです。



筑波大付属高校（埼玉県）1年生が「地域ふれあいいいききサロン」を体験学習の体験をした模様です。

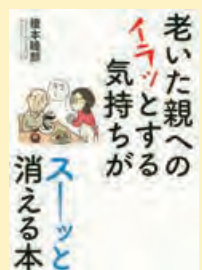
ユニゾンの図書館ニュース

老いた親へのイラツとする気持ちが一掃と消える本

著者：榎本睦郎
発行：永岡書店

老化現象による親の困った行動・言動の理由と対処について、1万人以上の老人を診察した高齢者医療の専門医が解説。老化のしくみを知ることが高齢者とうまく付き合うためのコツをアドバイスします。この本は、老いた親との付き合い方に戸惑いやストレスを感じている子世代に向けて書かれました。子世代も20～30年もすれば高齢者です。老いた親の姿から老い方を学び、自身の老後対策の参考にしてはいかがでしょうか。

問い合わせ 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514



◆ご意見・感想お寄せください

◆〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasisu@fukushinigaata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎025-281-5584
発行人／関谷 政友
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和元年10月1日発行（毎月1日発行）
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱